

## 平成31年度学校評価実施計画

学校名	大分県立 日田 高等学校
-----	--------------

前年度評価結果の概要	<p>○SSHを基軸とする授業改善は着実に進んでいる。昨年度から、指導教諭がファシリテーターとなって実施している授業改善研修会(5月実施)や、全ての教員が参加する校内授業研究会(10月実施)により、授業改善の方向性(ベクトルを合わせ)や進捗状況を教員相互が確認し、発問を中心に据えた思考を深める授業手法や作問力が向上した。次年度も、「つけたい力」を明確にした授業と、生徒の思考力をより深める発問等の研究に、継続して取り組む。</p> <p>○丁寧かつ粘り強い指導により、難関大学合格1名を含む101名が国公立大学合格を勝ち取った。また、私立大学や公務員合格等、生徒の第1志望の進路目標を達成した。</p> <p>○各教科が課す課題(宿題)については、生徒の学力向上に最も効果が上がるよう、量的、質的両面からよく吟味をする必要がある。また、生徒が自ら進んで学習するような仕掛け等を工夫する必要がある。</p> <p>○県教委主催の各種事業への参加者数は県下の高校の中でも多く、県教育委員会から高く評価されている。次年度も、県教育委員会主催の諸事業やSSHに係る各種発表会、コンテストへは、生徒の学習面や健康安全面に配慮しつつ、積極的に参加する。</p> <p>○安全・安心な学校づくりを更に推進するため、平素の安全点検やネットトラブル防止講演会、自転車安全運転講習会等外部と連携した各種講演会、いじめアンケートや生徒理解のための面接句間を継続して実施する。</p> <p>○生徒会活動の活性化・活発化は、生徒の自主性を伸ばし、知・徳・体の調和のとれた心豊かでたくましい人間を育成するための重要な要素の1つである。本年度の活動を踏まえ、次年度は、各専門委員会を中心とした啓発活動等が計画的に実施できるよう、日程調整や活動内容についてのアドバイスやサポートを強化する。</p> <p>○SSH事業については、自校での取組や地域と連携した取組等を含め成果が上がっていると考える。次年度は、中間評価ヒアリング結果やSSH運営指導委員会での意見、指摘事項等を踏まえ、地域との連携をより一層強化するなど、これまでの内容をよりブラッシュアップする。</p> <p>○学校の魅力発信のための方策として、学校HPの更新やSSHナウ、日田高だよりの発行を定期的に行う。また、SSHの各種発表会や学校行事へ市内の小中学生や市民が参加できるよう、実施形態等の工夫と広報宣伝を行う。</p>
------------	---

学校教育目標	中期目標	重点目標
志高く、知・徳・体の調和のとれた心豊かでたくましい人間を育成する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 主体的な学習態度を育成し、質の高い授業による、生徒一人ひとりの学力向上と進路志望の達成</li> <li>2 生徒の自主性を涵養し、学校行事やSSH事業・部活動等の充実による、心豊かでたくましい人間の育成</li> <li>3 安全・安心な教育環境を堅持し、SSHとして生徒・保護者に選ばれ地域から愛される特色ある学校づくり</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業改善・SSH活動を中心とした、学力向上とキャリア教育の推進</li> <li>2 特別活動・心の教育・SSH活動を中心とした、人間力育成の推進</li> <li>3 情報発信・SSH活動を中心とした、魅力ある学校づくりの推進</li> </ol>

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
1 授業改善・SSH活動を中心とした、学力向上とキャリア教育の推進	1-1 授業アンケート(7月と11月実施) 「主体的な思考力が身に付いた」と答える生徒の強い肯定の割合70%以上	1-1 効果的な発問の工夫・研究と実践により、学力を向上向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎授業時間に1回以上、目標(つけたい力)の達成のための発問の実施</li> <li>・毎授業時間に1回以上、生徒が自らの意見を発表する場面の設定</li> <li>・教科会議での評価問題の事前研究の実施と良問の蓄積及び経年比較による活用</li> <li>・校内授業研究会の実施(2学期1回)</li> </ul>	PL: 指導教諭 SL: 教務主任 教科主任
	1-2 最難関大学1名、難関大学5名を含む国公立大学の現役合格者数110名以上	1-2 難関大学への合格を支える指導体制のもと、高い志を育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難関大学希望者に対する指導ロードマップに基づいた特別指導(各教科随時)、集会(1, 2学期各1回)、対象模試(年2回)の実施</li> <li>・県教委主催の各種事業や東京大学主催の主要大学説明会等への生徒の参加促進</li> <li>・さまざまな機会を活用しての作問研修(随時)と、3年日田高模試(8月末実施)に向けた教科内での作問研修の実施</li> <li>・東京大学等の大学入試問題研究・分析と入試問題の教材化(随時)、分析結果の全職員間での共有と活用</li> </ul>	PL: 進路指導主任 SL: 学年主任
	1-3 家庭学習時間調査(毎月実施) 平日平均 1, 2年生: 2.5時間以上、3年生: 4時間以上 休日平均 1, 2年生: 4時間以上、3年生: 8時間以上	1-3 キャリア教育の充実と学習時間の確保を通じて、進路希望を実現させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習時間調査による生徒自身の振り返る機会の設定(年6回)</li> <li>・家庭での学習課題の量と内容の定期的な点検(年6回)</li> <li>・部活動終了時刻の厳守と下校指導の実施(随時)、部活動顧問による個別面談の実施(適宜)</li> </ul>	PL: 進路指導主任 SL: 教務主任 学年主任
2 特別活動・心の教育・SSH活動を中心とした、人間力育成の推進	2-1 学校生活アンケート(7月と11月実施) 「安全で安心して学校生活を送れている」と答える生徒の割合100%	2-1 安全・安心な学校づくりを推進し、心身ともに健康なたくましさを育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内安全点検の実施(各学期始業日前、毎清掃時、各学期1回)</li> <li>・生徒、保護者対象のネットトラブル防止等の講演会の実施(年1回以上)</li> <li>・自転車の安全運転に係る交通マナー講演会、自転車・バイク点検の実施(年1回以上)</li> <li>・いじめアンケートの実施(各学期1回)</li> </ul>	PL: 生徒指導主任 SL: 保健主任 教育相談担当 人権教育担当
	2-2 学校生活アンケート(7月と11月実施) 「積極的に生徒会活動や部活動に参加している」と答える生徒の割合80%以上	2-2 特別活動への主体的参加を通じて、健全な人間関係を構築させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒企画による自主活動(あいさつ運動、情報マナー運動、薬物乱用防止運動、交通安全運動、校内美化活動等)への積極的参加の推進</li> <li>・SSHをはじめとする様々な取組によって培われたやコミュニケーション力や国際性、企画力等を活かし、全校生徒が各種行事に積極的に参加するためのミニ講演会やポスター制作等の啓発活動の実施(各専門委員会が月替わりで実施)</li> <li>・部活動と学習との両立を実現するための生徒による呼びかけ、啓発活動の実施(随時)</li> </ul>	PL: 特別活動主任 SL: 学年主任
	2-3 学校生活アンケート(7月と11月実施) 「自身の課題に、前向きに、忍耐強く取り組むことができる」と答える生徒の割合80%以上	2-3 心に寄り添う教育相談・人権教育の充実により、豊かな心を育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習や部活動、学校行事や校外でのボランティア等の活動、SSHの活動等への主体的、積極的参加の促進</li> <li>・面接句間(各学期1回)、家庭訪問(年1回以上)、心理テストの実施(1年)</li> <li>・生徒情報を共有し、学年団・担任との連携強化を図る教育相談記録・支援シートの共有(適宜)</li> <li>・ケース会議、教育相談委員会の実施(適宜)</li> </ul>	PL: 保健主任 SL: 生徒指導主任 教育相談担当 人権教育担当
3 情報発信・SSH活動を中心とした、魅力ある学校づくりの推進	3-1 大学・専門研究機関等が主催する各種コンテスト等への参加生徒数200名以上	3-1 コンテスト等への積極的参加や探究活動の深化により、魅力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学的人材育成推進のための、様々なコンテスト等への積極的参加</li> <li>○生徒研究発表会(8月神戸) ○サイエンスインターハイ@SOJO(8月熊本) ○数学オリンピック、生物学オリンピック</li> <li>○九州大学未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP) ○九州大学大学院筑紫キャンパス大学院キャンパス開放</li> <li>○九州大学アカデミックフェスティバル ○各大学や各種学会等</li> </ul>	PL: 研究主任 SL: 教科主任
	3-2 学校HPの更新回数100回以上、SSHナウの発行20号以上	3-2 SSHの取組や諸活動の成果・実績を広報し、魅力を発信する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務部HP係等による学校HPの定期的更新(週3回程度・年間100回以上)</li> <li>・学校説明会における本校SSHの取組内容の発信</li> <li>・研究部広報係による「SSHナウ」の定期的発行と地域の小中学校、公共機関、本校生徒・保護者への配布</li> </ul>	PL: 総務主任 SL: 研究主任
	3-3 本校が実施する各種発表会、小中学校への出前授業に参加する小中学生、教員、市民の参加者数合計400名以上	3-3 地域の小・中学校との連携を推進し、地域に貢献できる学校にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高連絡会(年2回)、学校見学会(夏季休業中)、久大地区高校説明会(10月～11月)の実施</li> <li>・(研究部と連携)科学系コンクールに参加する中学生に対する本校生徒によるサポート(夏季休業中)、また市内小中学校への出前授業の実施(3学期、小中1校以上)</li> <li>・中学校PTAの学校訪問、中学1、2年生の進路研究(卒業生の母校派遣、中学2年生の学校訪問)への対応</li> </ul>	PL: 主幹教諭 SL: 総務主任 教務主任